

3月定例会 一般質問

村政を問う

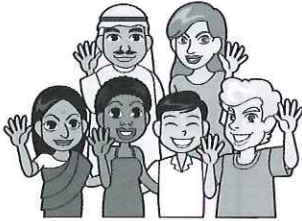


瀬谷 一男 議員

Q 外国人が安全・安心で暮らせる対策は

現在、本村に150名ほど外国人が居住している。今後ますます増えると予想される。

- ① 村内の外国人就労状況は。
- ② 生活マナーについての指導状況は。
- ③ 外国語対応の翻訳機設置の考えは。



吉田 好之 議員

Q こども園周辺の道路網整備の考えは

こども園建設予定地周辺は、県道北方遅沢線、村道鶴子後川線が交差している。こども園開園後は交通量の増大も予想される。

- ① 道路網の安全対策は。
- ② 旧永田集会所付近の山林の法面の取り除きは可能か。

4人の議員が登壇しました

一般質問とは……

定例議会において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり村当局の考え方や疑問をただすことです。

また、議員にとって政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。

Q 中学校出入り口付近へ防犯灯設置を

安全対策として、出入り口付近に防犯灯設置が必要ではないか。

A 関係機関で協議している

▽住民課長

教育委員会、地域整備課の三課で現在協議している。多角的な視点で生徒の安全確保のための対策を講じていく。

再Q 横断歩道を安全に横断できる明るさが必要と考える。

また、生徒達は、学校敷地から村道、調整池周辺をランニングしている。子供達の安全対策を講じるべき。

A 行政サービスの向上に努める

▽住民課長

- ① 9割が村内または近隣市町村に就労。
- ② 転入手続きの際、多言語によるリーフレット、ゴミ分別収集カレンダー等の配付、窓口には多言語総合パンフレットを設置している。
- ③ 国際化に対応したむらづくりのため、音声翻訳機を導入し、外国人が住みやすい環境づくりにむけて行政サービスの向上に努める。

再Q 生活マナーでのごみの出し方で、村外のごみ袋を使い収集場所に出すケースがある。よく把握したうえで、指導を徹底してほしい。

翻訳機においては、一日でも早い設置をお願いしたい。

再A 住民課

他地区からのごみ、他地区のごみ袋を使つてのごみの搬出については、就労先の事業所から助言、パンフレットでの啓発を促したい。



A 関係機関と連携し

必要な対策を講じていく

▽地域整備課長

- ① 旧役場隣接の村道の道路改良工事を予定している。
- ② 平田村通学路合同点検パトロールで、危険・要注意箇所として県へ対策を要望している。

再Q 危険な要注意場所である。一日でも早い前向きな検討、工事が着手されるようお願いする。



永田字広町地内

再A 教育課長

学校側と現地を確認し、死角がないよう今後検討していく。

また、学校敷地外の活動の安全対策も講じていく。



ひらた清風中学校付近



根本 定雄 議員

Q 小平地区の 小さな拠点地域づくりは

平成29年度小平地区小さな拠点形成可能性調査事業の報告を受け、地域づくりをどのように導き出していくのか。

- ① 旧小平中学校は取り壊すのか、利活用するのか。
- ② 独居高齢者が急増する中、生活支援体制の整備を急ぐ必要があるのではないか。
- ③ 農業の維持、活性化対応は。

A 全庁挙げて検討進める

▽総務課長

- ① 利用できる部分は利用していく考え。石川町の高校で、テニス部活動で利用したい旨の話もある。高校・大学等の合宿所としての利用等、慎重に検討しているところ。

- ② 各行政区でサロンを開催し、多くの高齢者が集まり参加できる体制づくりに努めている。平成29年に発足した「ちょこつと助け隊」に協力いただいている。老人会等活発な活動へ、今後も支援していく。

Q 商工会への小規模事業費 補助金見直しを

商工会が行うふるさとづくり事業のための補助金が、小規模事業費補助金交付規程により3分の1以内となっている。村の三大イベントである芝桜まつり、花火大会、産業まつりの財源確保は厳しい状況である。見直しが必要ではないか。

A 補助金額引き上げの予定

▽産業課長

昨年11月、商工会から本規定の改正要望があり、見直しを図った。現在の「3分の1以内」から「3分の2以内」に改正する予定。



高橋 七重 議員



Q 健康づくりは住民への 意識付けが必要ではないか

各種健診・検査の必要性が住民に浸透し、良い結果につながるような進め方が大事。

- ① 受診率向上のため、新たにどのような対策を考えているのか。
- ② 生活習慣病への対策は。日常的に塩分量値を知ることができ、意識が変わる方法はないか。

A 働きかけを強化する

▽健康福祉課長

- ① 平成31年度当初予算で、人間ドック受診対象者の拡大を図った。また、受診医療機関を増やし、受診しやすい環境づくりを心掛けている。

- ② 総合健診に推定食塩摂取量の測定を取り入れ、その結果を広報ひらたに掲載した。講演会や各種教室でも減塩活動を実施した。

保健推進員に塩分濃度測定器を配付し、地域住民のみそ汁塩分濃度測定の実施や講習会を開催している。今後も各種団体の協力を得て、普及活動に取り組む。

Q ジュピアランド関連事業は 計画と予算を示すべき

2014年に「ジュピアランド再構想図」が新聞に掲載された。構想図を実現させるのであれば、今

③ 集落営農の組織づくりを進める。

再Q 可能であれば、宿泊施設としての利用を、利用ができないのであれば取り壊す必要がある。

小平地区は急激な高齢化が進んでいる。一人暮らしの共同生活の場も必要ではないか。

高齢者でも農産物を作り、加工場を確保し活性化していく必要があるのではないか。

いつまでにどうするかを明確にする必要がある。小平地区の住民が集まれる場所を確保してほしい。

再A ▽総務課長

宿泊施設として利用するには、建物が大きいことから大規模改修が予想される。総合的に検討していく。

活発な活動をする団体を支援しながら、拠点づくりに努める。

再A ▽産業課長

加工場について、共同で利用する際は責任の所在を明確にすることが課題。

集落営農は、ブロックローテーションによる土地利用型を推進したい。

再A ▽村長

利活用の検討はしている。全庁挙げての課題であり、慎重に検討を進めていく。

Q 耐用年数を経過した 公営住宅の対応は

① 老朽化した公営住宅の今後の考えは。

② 公営住宅の長寿命化をどのように考えているのか。

A 適切な維持管理に努める

▽地域整備課長

① 著しく老朽化し、維持管理費が増加した住宅は取り壊す。民間賃貸住宅家賃補助や、旧公営住宅跡地を利用した民間賃貸住宅建設費助成事業を実施していく。

② 適切な維持管理に努めていく。

再Q 公営住宅建替えの計画はないのか。
このままでは、低所得者のための住宅はなくなってしまうのではないか。

再A ▽地域整備課長

平成30年度は後川教員住宅を用途替えし、入居者を募っている。

多様化する入居希望者のニーズに対応するには、新築にこだわらず、立地環境や生活形態に合わせた住宅の提供が重要と考えている。

後も期間、予算、維持管理が必要である。その施設、設備が本当に必要なものかどうかも含め検討し、期間、予算等を明らかにすべきではないか。

A 住民・議会に示し進めていく

▽産業課長

再構想の内容は、世界のアじさい園を造ること、ヤマツツジやヤマユリ等の植栽で一年を通じて集客できるよう整備するもの。また、駐車場を確保し渋滞解消を図るもの。これらはおおむね達成した。今後も、ニーズに応え時代に合った観光施策を住民、議会に示し進めていく。

再Q リピーターを増やし、来場者を増やすため、きれいに花を咲かせることに徹底すべきではないか。

再A ▽村長

その都度、議会に示し判断を仰いでいる。あらかじめ立てられる計画と、その都度対応を考えなければならないものがある。住民や村外の方々に、夢のある話はしていきたい。その際は、議会に示すのでしっかりと判断していただきたい。



樹里庵近くに整備された駐車場